

がんばってます神戸の農業

NO. 6 櫛谷町2
(菅野編)

多彩な農産物の生産が行われ、多様な農村地域がある神戸市の農業委員の地元を順次紹介していきます。

今回は西区の櫛谷町とそこで頑張っている若手農家の加藤誠身さんをご紹介します。

櫛谷町

西区の東部に位置し、東に伊川谷町、南に玉津町、西に押部谷町に囲まれています。西神戸の住宅地（都市部）である西神ニュータウンや西神南ニュータウンにも接しています。

また、農業では水稲や軟弱野菜の生産、酪農や肉牛等の畜産の他に、観光柿園も盛んに行われています。

菅野

加藤会長代理の地元菅野集落は、櫛谷町の南西に位置し、中央を櫛谷川が流れています。

菅野の地名は、古代に清浄な土器、およびそれを造る人を「スガ」といい、明石川流域の陶器製造の中心地の一つであったからとも、川の水で堆積した砂地（スカ）、にひらけた野とも言われています。

○がんばる若手農業者（加藤 誠身（さとみ）さん 43歳）

1. 加藤 誠身さんは23年程農業に従事し、家族で農業を行っています。少量多品目で軟弱野菜の他にも果菜類（なす、きゅうり、トマト）を栽培されています。
2. 「農業をやっていてよかったところは自分のペースでできることや、色々経験し、考えながらできるところ」と嬉しそうに話されていました。
3. 「これからがんばっていきたいところは、親から譲り受けた大切な農地をこれからも守り続けたい。また、自身の技術力を向上し、消費者に喜ばれる安全・安心で高品質な野菜をつかっていきたい。」と熱意をもって、話されていました。

○岩嵩神社

1. 岩嵩神社は静寂な山の中にあり、昔から菅野の主といわれる白いヘビがいるという謂れにより、祠が建てられました。
昭和初期に神社として祀ったとされています。
2. 白ヘビを祀っているため、願いが叶った参拝者の中にはお礼としてヘビの好物であるタマゴを供える方もいたようです。

○地域と都市との交流事業

平成22年の西神ニュータウンにある小学校との交流をきっかけに、平成24年から灘区にある保育園、平成25年から垂水区にある子育てグループ、平成26年からは児童養護施設と農作業体験を通じて、農会を中心として菅野地域の皆さんが関わり、大切に交流を続けています。



加藤 誠身さん



加藤 誠身さんのビニールハウス



岩嵩神社の様子